

前月比
人口 76,716 (-438)
[男 36,805]
[女 39,911]
世帯数 20,119 (-64)

おおだて

1月号 (No. 186)

編集と発行 — 大館市役所

(電話) 2-1212

発行年月日 — 昭和48年1月1日

発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世界に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課庶務係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

明るく、豊かな大館市を築くため、2年前から東北新幹線の秋田、津軽ルートの誘致運動を精力的にすすめています。

昨年12月の総選挙のため、一時この誘致運動も中断した感がありましたが、選挙終了と同時に誘致運動を再開、ルート発表の6月に向けて、秋田、津軽ルートの実現のため、全力を傾注していきます。私たちの主張しているルートは立地条件、利用人口の多さなど多くの適正を有しているもののルート発表までは予断を許せない状況です。そのため、中央への陳情を強化するとともに、総決起大会の開催など、非常事態宣言の気がまえて本ルートの実現をはかります。

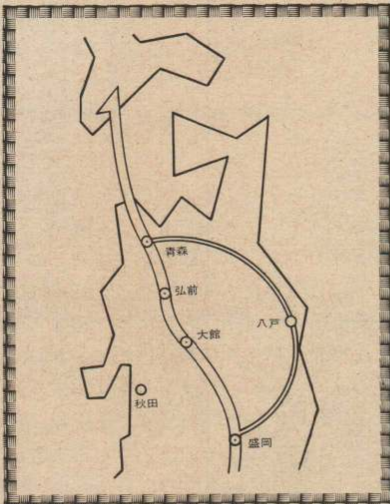
「さあ、1973年の幕あけです」

ことしはウシ年、市政は牛歩のようにスローモーションであってはならない、という市長の考えの中で新しい年の構想が年明けとともに練られています。市民福祉向上のため、どのような施策が打ちだされるかは、4月まで待っていただくことにして、とりあえず、懸案の4つの問題の現状をお伝えしながら、市民の協力を得ながら是非とも実現したいと考えています。

東北縦貫道路は、昭和50年には鹿角市に達することになっております。この縦貫道を最大限に活用するため、現在の国道103号線のほかに、大館から縦貫道に結ぶ新バイパスを国でつくってもらうことが私たちの願いです。

昨年、この願いを実現するため、大館、鹿角、能代、山本、北秋の18市町村で、期成同盟会を結成し、地元の国会議員団の協力を得ながら運動をすすめてきました。

この積極的な陳情が効を奏して、建設省では、48年度に調査費を計上し、49年度から着工したい、という意向を示しており、この新バイパスの見とおしは、大変明るいものがあります。

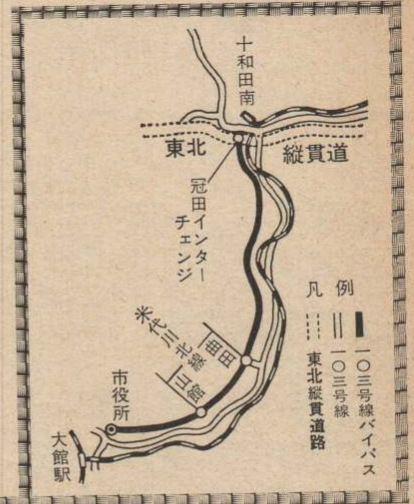


新幹線誘致

103号線バイパス

念願

達成と前進の年



凡例
 一〇三号線バイパス
 一〇三号線
 東北縦貫道路

市では昨年、長根山周辺に1万本の桜を植えようと、スケールの大きい計画をたてた。観光資源にめくまれない本市に、まず考え出されたのが、鳳凰山の大文字焼き、このほかに何か全国に誇るものを、と考えたのが、この1万本桜です。この大計画は、47年度から49年度までの3カ年計画で実施され、すでに、昨年11月30日に北海道の松前から400本、12月6日には、茨城県から6,000本の桜苗木が到着(写真)さっそく柄杓の畑地に仮植されています。

懸案の桜の名所づくりも、桜苗木の到着で本格的なスタートを切ったわけです。

一万本桜

県道大館・十和田湖線

県道大館・小坂線が着工したのは昭和26年、竣工の連続であったが昭和43年7月22日、17年ぶりに開通しました。

この県道は、大館から小坂を経て、十和田湖に結ぶ線として多年の念願であったため、開通後、小坂—十和田湖間の早期開通を県知事に働きかけてきたところです。期成同盟会(会長大館市長)の要望に対し、11月12日、現地調査を行なった(写真)小畑知事は48年度に徳兵衛平に橋をかけ、49年度には発荷の入口に結びたいという構想を明らかにしたため、大館から十和田湖に結びたいとする私たちの願いも、かなえられそうです。

